



キックオフ座談会

令和6年6月12日

広島県子供未来応援課

- 1 少子化の現状・課題
- 2 子供を持ちたいという希望を実現するには？
- 3 社会全体で子育てを応援するとは？

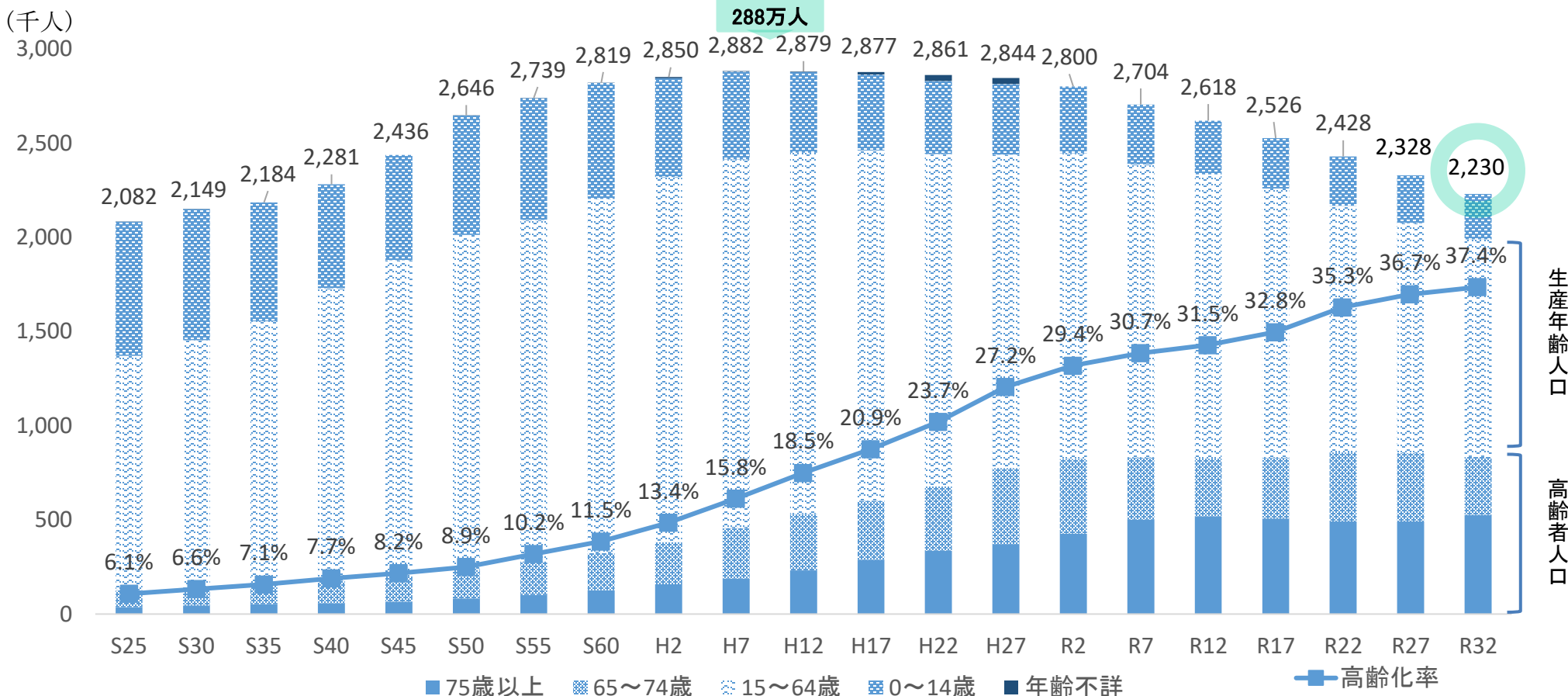
1 少子化の現状・課題

2 子供を持ちたいという希望を実現するには？

3 社会全体で子育てを応援するとは？

将来推計人口と人口構造（広島県）

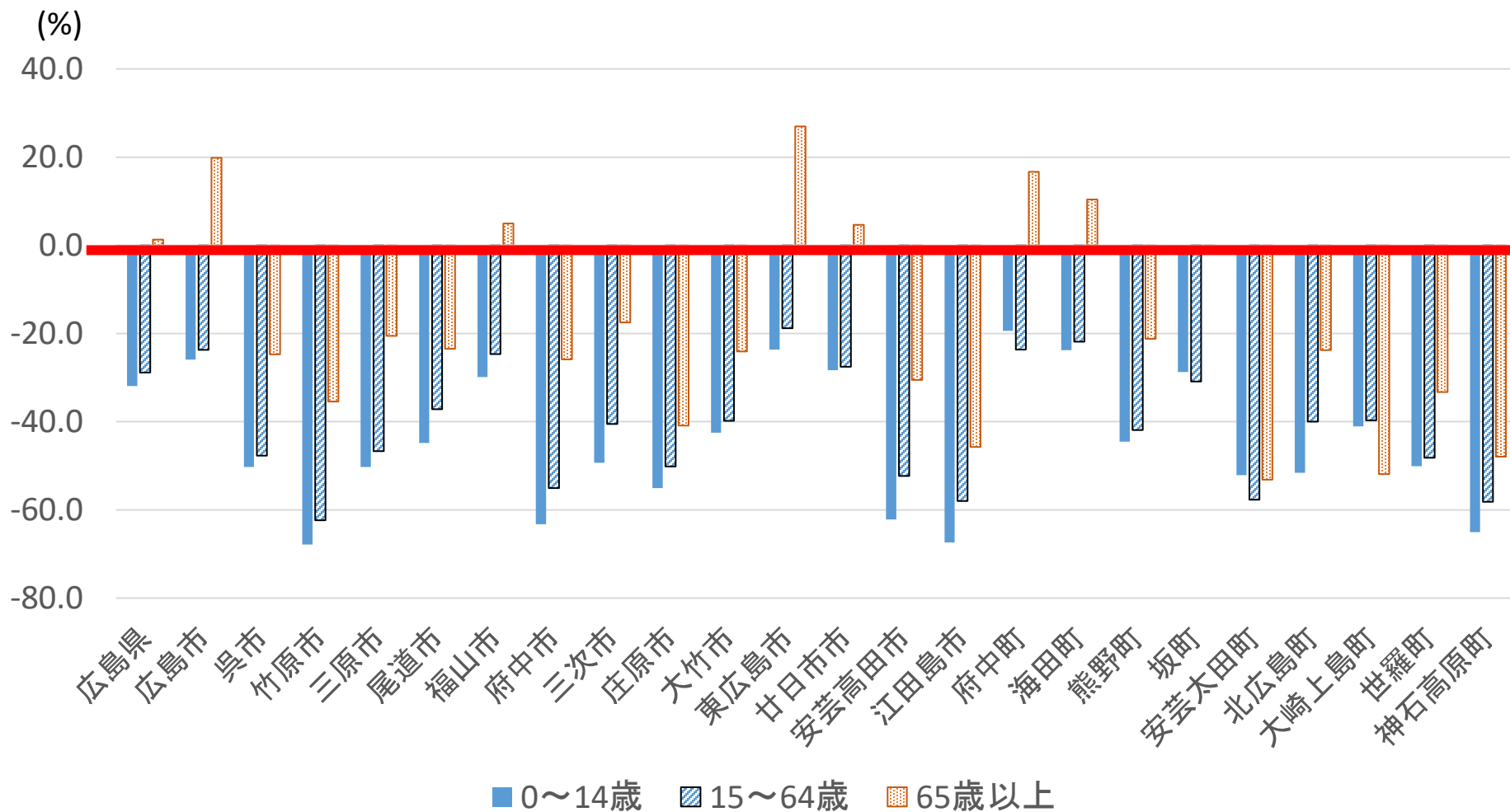
- 本県の人口は、H10(1998)年の288万人をピークに減少。R32(2050)年にはピーク時から約65万人減（△22.6%）の223万人になると推計
- 生産年齢人口は、R2～R32の30年間で、約47万人減少。高齢者人口は、R22(2040)年にピークを迎えるまで緩やかに増加し、その後減少（R2～R22の20年間で約3.5万人増加、R22～R32の10年間で約2.4万人減少）。



※出典：R27(2020)年までは総務省「国勢調査」、R7(2025)年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（R5(2023年)推計）

市町別・若年人口は2～6割減少（2050年）

➤ 0～14歳、15～64歳の2050年の推計人口は、2020年の人口と比較して県内すべての市町において減少。



(国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(R5(2023年)推計))

人口減少（社会減）の現状

- 本県の社会動態は平成28年以降、**転出超過**で推移。
- 年齢階級別にみると、「**20～24歳**」の転出超過が大きな割合を占め、**令和2年以降、拡大し続けている**。

<年齢階級別転出入超過の推移>

(単位:人)

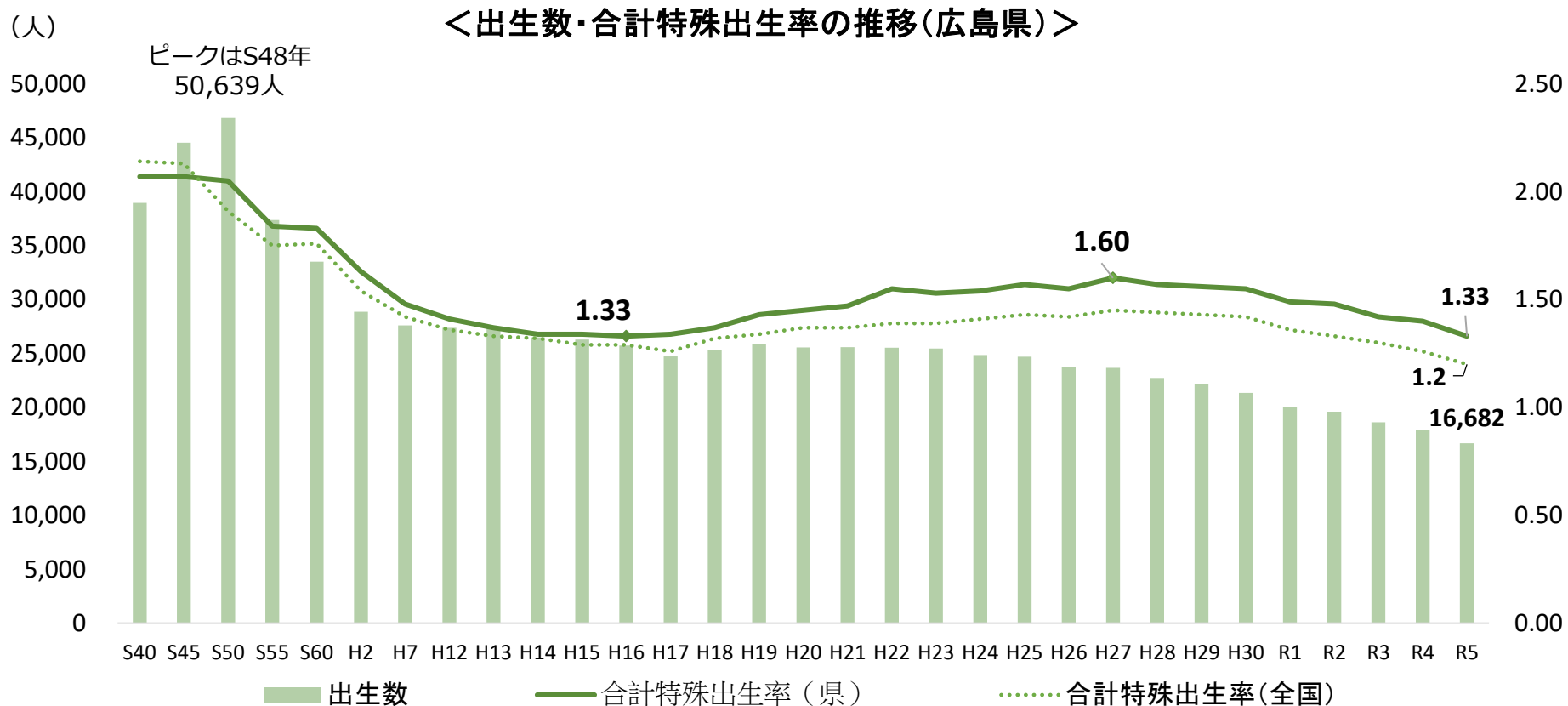
| 年齢階級 | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 | 前年との差 |
|---------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|--------------|
| 総数 | 567 | 412 | △ 1,761 | △ 2,803 | △ 3,117 | △ 4,982 | △ 2,491 | △ 4,821 | △ 6,399 | △ 7,235 | △ 836 |
| 0～14歳 | △ 99 | △ 324 | △ 116 | △ 205 | △ 294 | △ 593 | △ 44 | △ 314 | △ 556 | △ 27 | 529 |
| 15～19歳 | △ 183 | △ 73 | 5 | 266 | 87 | △ 148 | 409 | △ 172 | △ 264 | △ 527 | △ 263 |
| 20～24歳 | △ 2,077 | △ 2,193 | △ 2,449 | △ 2,256 | △ 2,967 | △ 3,657 | △ 3,141 | △ 3,709 | △ 3,877 | △ 4,601 | △ 723 |
| 25～29歳 | △ 361 | △ 199 | △ 454 | △ 459 | △ 460 | △ 782 | △ 537 | △ 470 | △ 1,371 | △ 1,461 | △ 90 |
| 30～34歳 | 74 | 360 | 245 | 8 | 184 | △ 199 | △ 113 | 8 | △ 425 | △ 550 | △ 126 |
| 35～39歳 | 120 | △ 114 | 172 | 90 | 24 | △ 111 | 183 | △ 9 | △ 161 | △ 5 | 156 |
| 40～44歳 | 163 | △ 1 | 180 | △ 139 | 110 | 38 | 292 | △ 137 | 118 | 64 | △ 54 |
| 45～49歳 | △ 101 | 2 | 160 | 7 | △ 14 | 30 | 126 | △ 21 | 0 | 99 | 99 |
| 50～54歳 | 9 | 110 | 1 | △ 91 | 34 | 121 | 76 | △ 31 | 54 | 8 | △ 47 |
| 55～59歳 | △ 25 | △ 34 | 131 | 89 | 64 | 180 | 94 | 39 | 146 | 17 | △ 129 |
| 60～64歳 | 66 | 53 | 110 | 27 | 102 | 142 | 74 | △ 8 | 156 | △ 41 | △ 196 |
| 65歳以上 | △ 57 | △ 203 | 149 | △ 244 | △ 89 | △ 105 | △ 14 | 3 | △ 218 | △ 211 | 8 |

注) 令和2年以前の「総数」は、国勢調査結果による補正を行っているため、内訳の合計と一致しない。

出所：広島県人口移動統計調査（年報）（乙調査）

出生数・合計特殊出生率の推移（広島県）

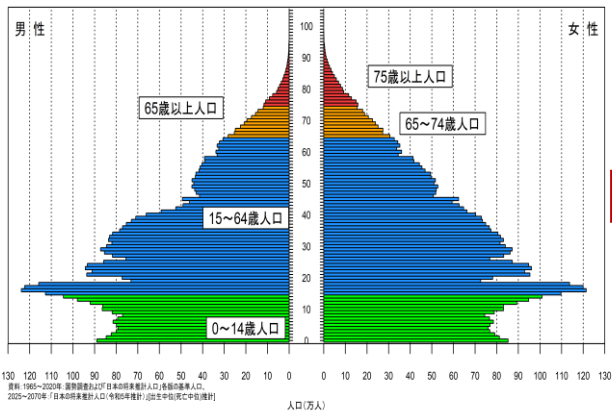
- 広島県の出生数は、S48年以降減少が続き、R2年に2万人を割り込んだ。R5年は16,682人。
- 合計特殊出生率は、全国平均を上回って推移してはいるものの、少子化に歯止めをかけることはできていない。



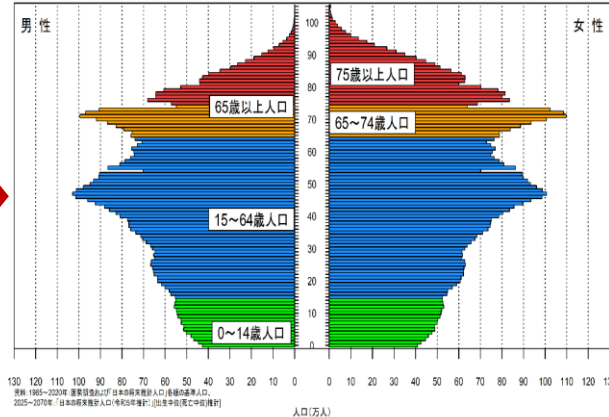
（厚生労働省「人口動態月報年計」より）

少子化（人口構造の変容）がもたらす影響

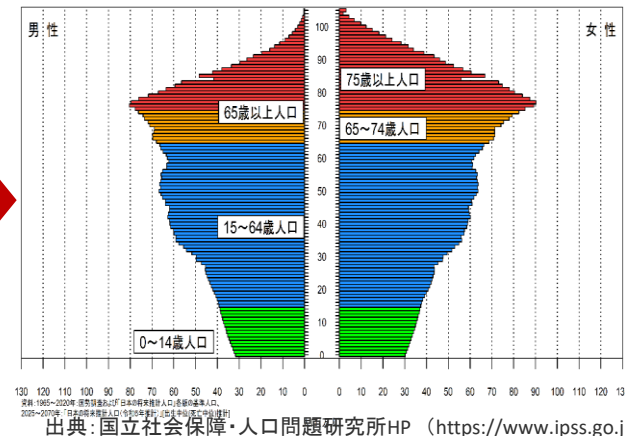
1965年



2020年



2050年



人口減少
特に生産年齢人口
の減少

- ✓ 労働供給の減少
- ✓ 経済・市場規模の縮小
- ✓ 現役世代の負担増
- ✓ 地域・社会・経済の担い手の不足
- ✓ 税収入の減／税負担の増
- ✓ 社会保障制度を維持することが困難に

行政サービスの低下

社会保障制度の破綻

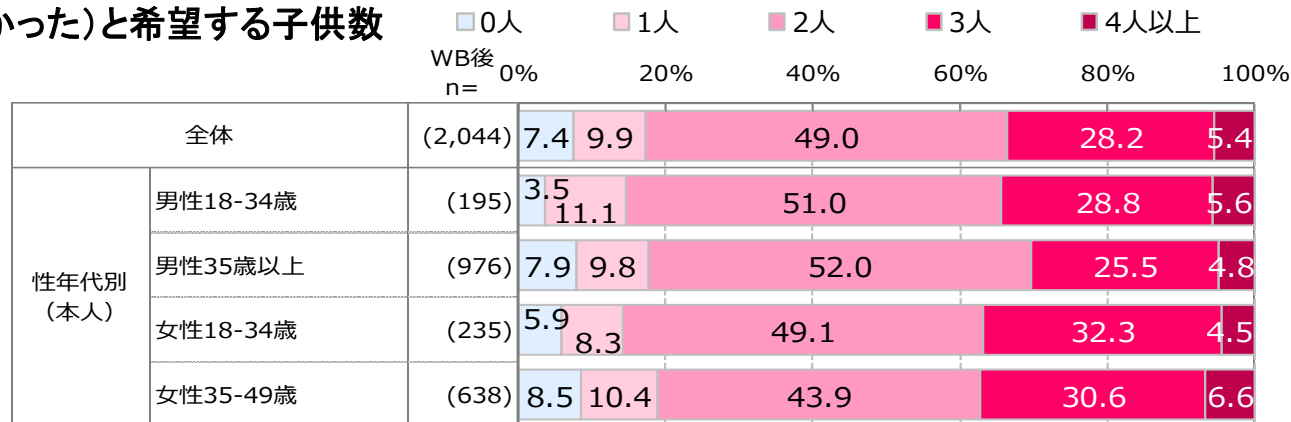
経済成長率の低下

- 1 少子化の現状・課題
- 2 **子供を持ちたいという希望を実現するには？**
- 3 社会全体で子育てを応援するとは？

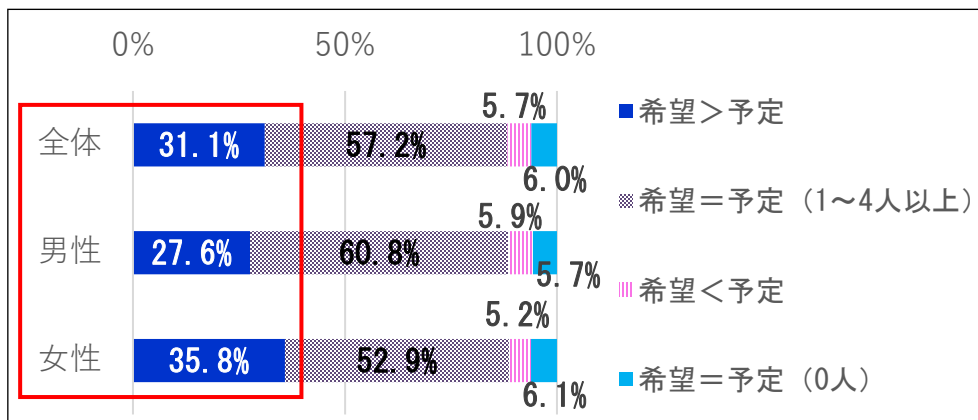
予定している子供数・希望する子供数

- 希望する子供数は、8割以上の方が「2人以上」、3割以上の方が「3人以上」を希望している。
- 希望の子供数を持っていない（希望>予定）割合は31.1%であった。
- 男女別では、女性の方が希望の子供数を持っていない割合が高かった（女性35.8%、男性27.6%）。

・本気に持ちたい(持ちたかった)と希望する子供数

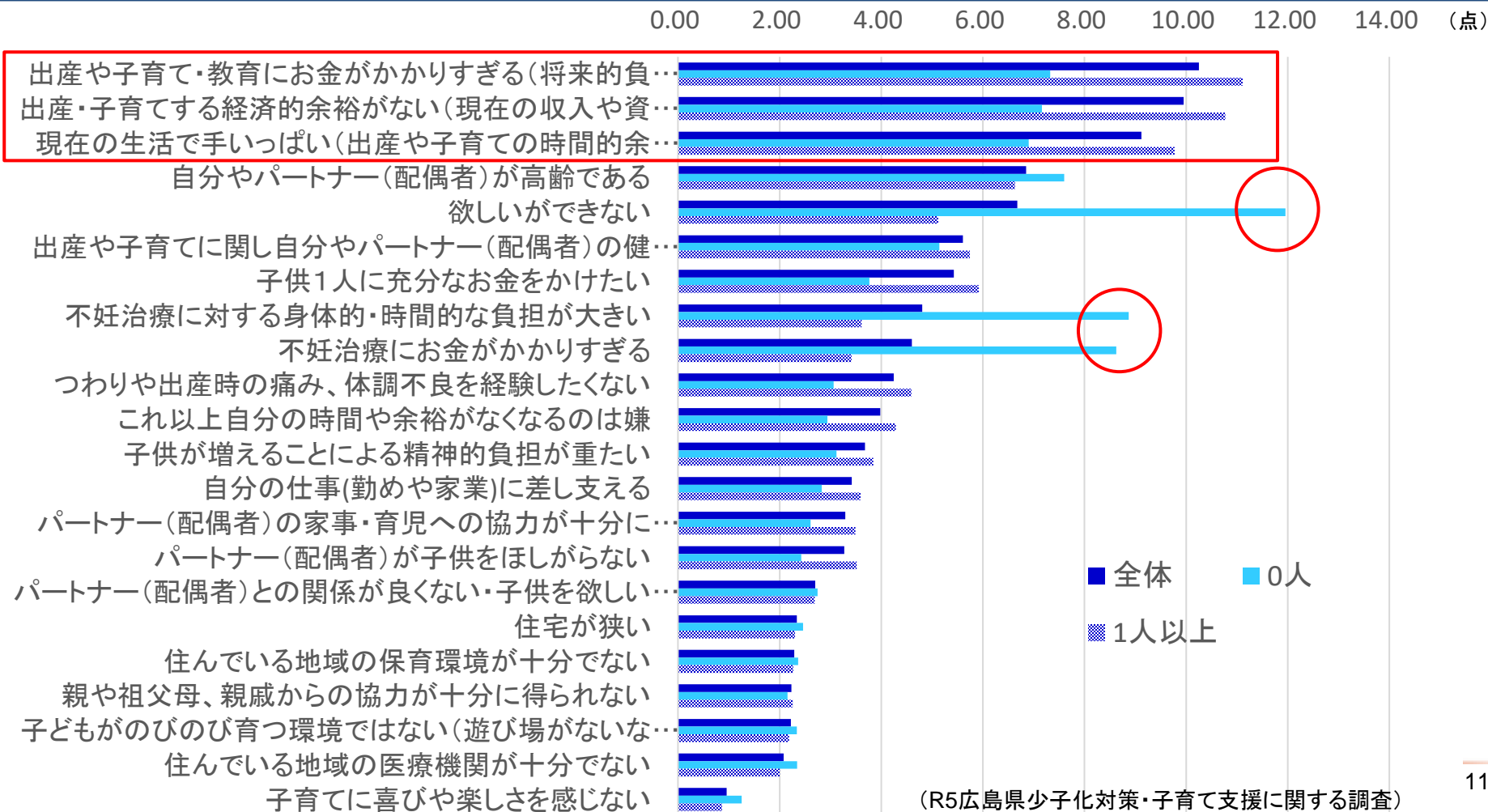


・予定している子供数と希望している子供数の関係



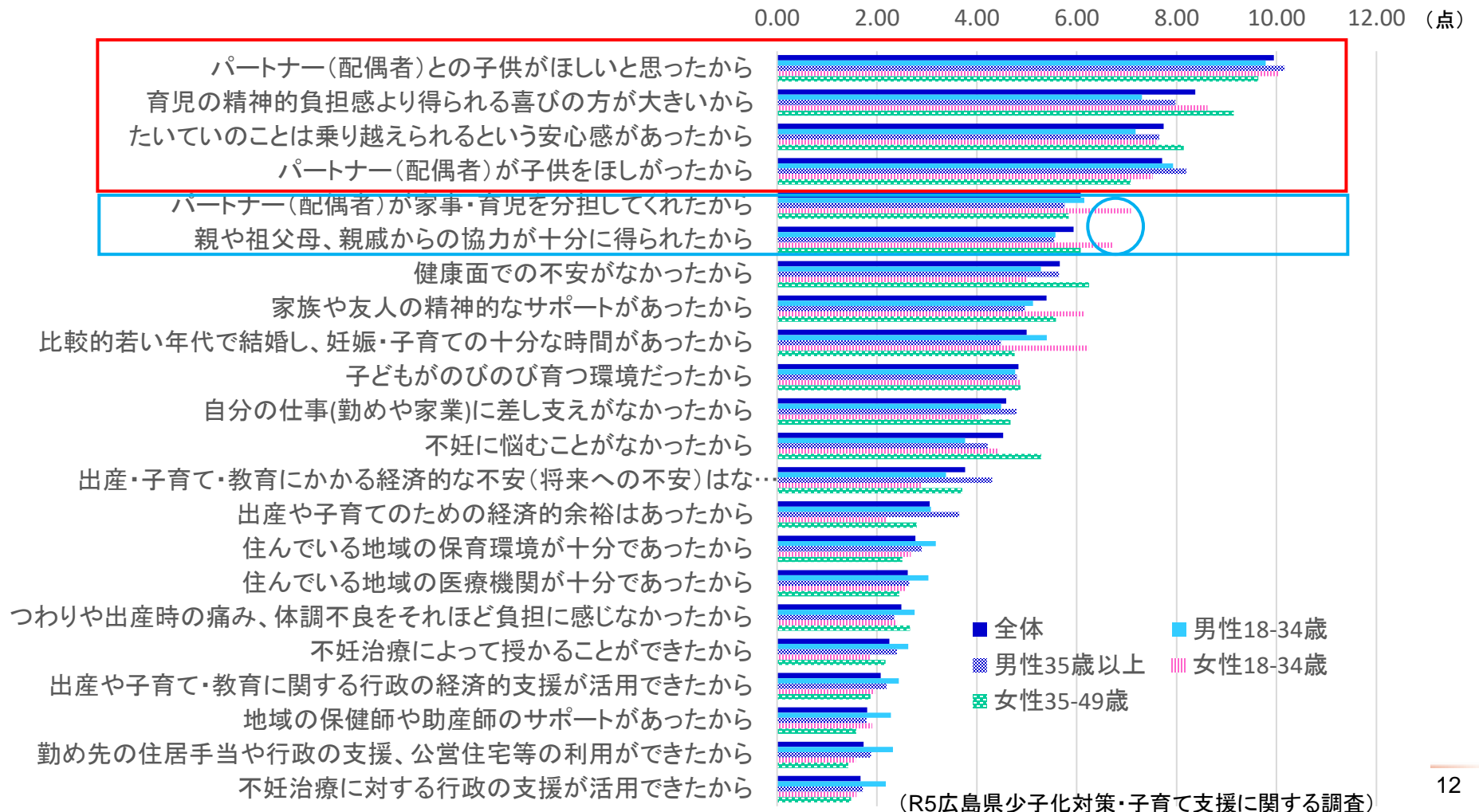
希望の子供数を持たない理由

- 希望の子供数を持たない理由として、「全体」では、経済的負担に係る理由が多く、次いで、時間的余裕がないとの理由が多かった。
(※グラフは、「全体」の順位が高い順。多数の選択肢の重みづけが可能なMaxDiff法により点数化)
- 予定している子供数が0人の場合は、欲しいができない、不妊治療の負担が上位であった。



希望の子供数を持てた理由

- 希望どおりの子供の数を持てた理由として、心情的な理由が大きく、次いで家事・育児の分担、親等からの協力であった。（※グラフは、「全体」の順位が高い順。多数の選択肢の重みづけが可能なMaxDiff法により点数化）
- 家事・育児の分担、親等からの協力は、女性（18～34歳）で特に大きい傾向が見られた。（青丸）



もう一人出産・子育てをしようという意思決定につながる支援

- もう一人出産・子育てをしようという意思決定につながる支援策については、「妊娠・出産・子育ての経済的負担のさらなる軽減」が最も多く39.4%であった。
- 「妊娠・出産・子育ての経済的負担のさらなる軽減」を回答した割合は、男性より女性が高く、子の学齢が低いほど高い傾向があった。

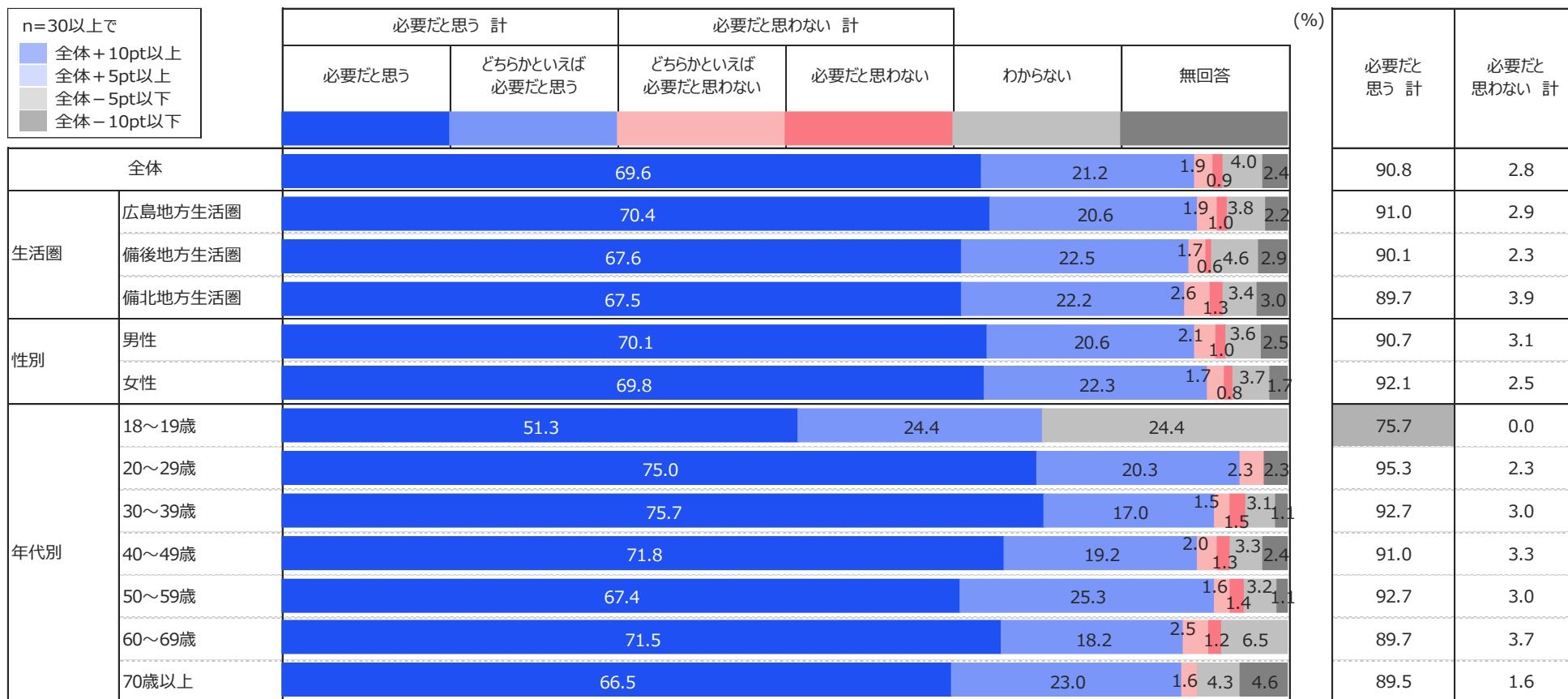
| 区分 | | n数 | 不妊治療への支援 | 妊娠・出産・子育ての心理的負担を軽減するサービスの充実 | 妊娠・出産・子育ての経済的負担のさらなる軽減 | 子育てに係る身体的負担を軽減するサービスの充実 | 夫婦が共に働きながら子育てしやすい社会や職場環境の整備 | その他 | わからない |
|--------------|------------|---------|----------|-----------------------------|------------------------|-------------------------|-----------------------------|-----|-------|
| 全体 | | (2,044) | 7.9 | 7.5 | 39.4 | 10.8 | 14.8 | 1.7 | 17.9 |
| 性年代別 (本人) | 男性18-34歳 | (195) | 9.6 | 11.1 | 39.9 | 10.6 | 9.1 | 1.0 | 18.7 |
| | 男性35歳以上 | (976) | 8.4 | 8.6 | 35.1 | 11.1 | 15.1 | 1.9 | 19.8 |
| | 女性18-34歳 | (235) | 4.0 | 7.8 | 53.8 | 9.4 | 12.5 | 1.4 | 11.1 |
| | 女性35-49歳 | (638) | 8.2 | 4.6 | 40.6 | 10.9 | 16.9 | 1.7 | 17.2 |
| 子の学齢別 | 3歳未満 | (466) | 5.4 | 9.8 | 50.4 | 8.1 | 13.4 | 1.4 | 11.5 |
| | 3~6歳(未就学児) | (526) | 7.0 | 8.2 | 47.2 | 10.0 | 14.7 | 1.7 | 11.1 |
| | 小学生 | (816) | 5.5 | 8.1 | 41.6 | 13.4 | 15.2 | 2.2 | 14.0 |
| | 中学生 | (370) | 6.8 | 6.9 | 38.6 | 14.3 | 14.9 | 1.6 | 16.9 |
| | 高校生以上 | (394) | 3.0 | 4.7 | 36.0 | 12.9 | 17.4 | 1.6 | 24.3 |

- 1 少子化の現状・課題
- 2 子供を持ちたいという希望を実現するには？
- 3 **社会全体で子育てを応援するとは？**

社会全体で応援する意識 (R5県政世論調査より)

Q12 あなたは、希望する人が安心して妊娠・出産・子育てができるよう、社会全体で妊産婦や子ども、子育て中の人を応援しようという意識を持つことについて、どう思いますか。(SA)

- **社会全体で応援する意識は、「必要だと思う計」(「必要だと思う」+「どちらかといえば必要だと思う」)の割合が90.8%。**



社会全体での子育ての応援

- 社会全体で子供を産み・育てている方を応援することについて、「応援されていると感じる」「やや応援されていると感じる」の合計は25.8%であった。
- 応援されていると感じるときは、「行政のサポートを受けたとき」が最も高く48.2%であった。
- 応援されていないと感じるときは、「行政のサポートが得られないとき」が最も高く49.7%であった。

WB後 n= 0% 20% 40% 60% 80% 100%
 ■ 応援されていると感じる ■ やや応援されていると感じる ■ どちらともいえない/わからない ■ あまり応援されていないと感じる ■ 応援されていないと感じる

| 項目 | 人数 | 応援されていると感じる (%) | やや応援されていると感じる (%) | どちらともいえない/わからない (%) | あまり応援されていないと感じる (%) | 応援されていないと感じる (%) | |
|-----------|-------------|-----------------|-------------------|---------------------|---------------------|------------------|------|
| 全体 | (2,044) | 5.1 | 20.7 | 39.6 | 20.0 | 14.7 | |
| 性年代別 (本人) | 男性18-34歳 | (195) | 6.1 | 28.8 | 37.4 | 13.1 | 14.6 |
| | 男性35歳以上 | (976) | 6.0 | 21.1 | 39.1 | 18.6 | 15.2 |
| | 女性18-34歳 | (235) | 5.2 | 23.1 | 35.1 | 21.9 | 14.6 |
| | 女性35-49歳 | (638) | 3.3 | 16.7 | 42.7 | 23.5 | 13.9 |
| 子の学齢別 | 3歳未満 | (466) | 9.9 | 22.4 | 33.9 | 21.9 | 11.9 |
| | 3~6歳 (未就学児) | (526) | 6.1 | 22.6 | 36.4 | 20.5 | 14.4 |
| | 小学生 | (816) | 5.6 | 20.5 | 36.9 | 21.8 | 15.2 |
| | 中学生 | (370) | 4.4 | 21.0 | 37.1 | 25.0 | 12.5 |
| | 高校生以上 | (394) | 3.5 | 16.3 | 43.8 | 21.8 | 14.6 |

【応援されていると感じるとき】

| 項目 (複数選択可) | (%) |
|--------------------------------------|-------------|
| 家族の理解・サポートを受けたとき | 46.3 |
| 親や親戚の理解・サポートを受けたとき | 44.7 |
| 職場の理解・サポートを受けたとき | 44.7 |
| 行政のサポートを受けたとき | 48.2 |
| 友人・知人の理解・サポートを受けたとき | 26.9 |
| 地域や外出先の施設でサポート (子育て向けのサービス含む) を受けたとき | 40.3 |
| その他 | 0.4 |
| 特にない・なんとなく | 5.0 |

【応援されていないと感じるとき】

| 項目 (複数選択可) | (%) |
|--|-------------|
| 家族の理解・サポートが得られないとき | 10.8 |
| 親や親戚の理解・サポートが得られないとき | 9.7 |
| 職場の理解・サポートが得られないとき | 26.2 |
| 行政のサポートが得られないとき | 49.7 |
| 友人・知人の理解・サポートが得られないとき | 5.8 |
| 地域や外出先の施設でサポート (子育て向けのサービス含む) が得られないとき | 28.9 |
| その他 | 4.6 |
| 特にない・なんとなく | 26.5 |

- 1 少子化の現状・課題
- 2 子供を持ちたいという希望を実現するには？
- 3 社会全体で子育てを応援するとは？